

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
2022年度第13回（3月）理事会議事録

- ◇日 時： 2023年3月9日（木）19時00分～20時30分
- ◇会 場： Web 会議併用（公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所）
- ◇出席者： （事務所参加）増田、上田、山西、梶、安保、岡本、谷川、上地、赤木、喜舎場、竹村、是永、藪、堀田、佐藤、豊田、井戸田監事、柴監事、高田参与、竹浦参与
（Web 参加）久保田、山田
- ◇議 長： 増田

本理事会は Zoom 会議システムを用いて理事会を開催する旨を宣言し、意見表明が互いに行えることを確認し議案の審議に入った。

【 討議内容 】

I. 行動報告（2月分）

日	行動内容	役員名
7	学術部会	（事務所）安保、佐藤、竹村 （Web）上田、豊田
8	日臨技臨地実習教育研修委員会	（Web）竹浦
9	第12回理事会	（事務所）増田、山西、上田、梶、安保、谷川、岡本、竹村、上地、赤木、喜舎場、豊田、佐藤、藪、堀田、是永、井戸田、柴、竹浦、高田 （Web）山田、久保田
9	東大阪市衛生検査所精度管理専門委員会検討会議	（Web）上田
11	令和4年度第3回核酸増幅検査(PCR等)実技研修会	増田
11	第12回 大臨技 がんフォーラム	上田、梶、山田、岡本、赤木、堀田、喜舎場、井戸田
13	東大阪市衛生検査所精度管理専門委員会検討会議	豊田
14	第6回大臨技医学検査学会 実行委員会	（事務所）上田、梶、安保、竹村、赤木、佐藤、藪、是永、谷川 （Web）久保田、山田、上地、岡本、喜舎場、豊田、堀田
15	総務庶務・広報編集・会計部会	（事務所）梶、山田、上地、赤木、喜舎場、藪、堀田、是永

		(Web) 久保田、豊田、佐藤
16	日臨技都道府県災害マニュアル説明 研修会	(Web) 増田、藪
17	組織部会	(事務所) 藪、是永、谷川 (Web) 上田、堀田
18	大臨技 冬季献血推進活動	増田、梶、岡本、赤木、喜舎場
18	第 13 回南地区地域オープンセミナー	上田、是永、谷川 (Web) 山田
19	タスク・シフト/シェアに関する 厚生労働大臣指定講習会	谷川、藪、堀田、是永
20	第 6 回大臨技医学検査学会 渉外部 ポスター印刷	(事務所) 喜舎場
21	渉外部会	(事務所) 岡本、赤木、喜舎場 (Web) 上田
22	第 11 回常務理事会	(事務所) 増田、山西、上田、梶、山田、安保 (Web) 久保田
24	精度管理部会	(事務所) 山西、竹村 (WEB) 是永
25	大臨技医学検査学会 学会準備	増田、上田、梶、安保、竹村、赤木、喜舎場、豊田、佐藤、藪、堀田、是永、高田、
26	大臨技医学検査学会	増田、山西、上田、梶、久保田、山田、安保、谷川、岡本、上地、竹村、赤木、喜舎場、豊田、佐藤、藪、堀田、是永、井戸田、竹浦、高田
26	令和 4 年度 大臨技臨床検査データ 標準化サーベイ報告会	増田、山西、上田、梶、安保、上地、岡本、竹村、赤木、喜舎場、豊田、佐藤、堀田、是永

II. 経過報告

1. 事務局

〈総務庶務部〉(報告者：梶副会長) 2月15日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 2023 年度学生カード会員証について検討した。
- (2) 2023 年度賛助会員申込状況について検討した。
- (3) メーリングリストアドレス変更について検討した。
- (4) 4月号大阪臨技ニュース印刷配布について検討した。
- (5) 事業予算流用申請書について検討した。

〈広報編集部〉(報告者：山田常務理事) 2月15日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 大臨技ニュース2月号 Web 版を発行した。
- (2) 大臨技ニュース3月号(第410号)の編集作業を行った。

(3) ホームページの更新を随時行った。

2. 財務局

〈会計部〉(報告者：山西副会長) 2月15日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 事務員2月給与を支給した。
- (2) 学生カード会員証、賛助会員申し込み状況について確認した。
- (3) メーリングリストアドレス変更について検討した。
- (4) 大臨技ニュース配布について検討した。

3. 事業局

〈渉外部〉(報告者：上田副会長) 2月21日(火) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 第6回大臨技医学検査学会渉外部企画について確認した。
- (2) 大臨技「検査と健康展」について確認した。
- (3) 2023年度疾患予防セミナーについて検討した。
- (4) 2023年度看護の日のイベントについて検討した。
- (5) 2022年度大臨技大放技合同フォーラムについて開催報告をした。
- (6) 第12回大臨技がんフォーラムについて開催報告をした。
- (7) 2022年度冬季献血推進活動(通算59回)について実施報告をした。
- (8) 理事会報告をした。

〈組織部〉(報告者：上田副会長) 2月17日(金) Web 会議併用にて開催した。

- (1) タスク・シフト講習会の進捗報告を行った。
- (2) 北地区および南地区オープンセミナーの報告を行った。
- (3) 大臨技医学検査学会に関して情報共有を行った。
- (4) 災害マニュアルに関して検討した。
- (5) 2023年度新入会員研修会に関して検討した。

〈学術部〉(報告者：安保常務理事) 2月7日(火) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 大臨技医学検査学会について情報共有、事前参加依頼を行った。
- (2) 来年度の部門委員リストの確認(要委嘱状)を行った。
- (3) 来年度からの新部門「総合管理部門」について情報共有を行った。
- (4) 事業の参加者減少対策について検討した。
- (5) 来年度もスタートアップセミナーを開催することを伝えた(5月以降予定)。
- (6) 理事会報告を行った。

〈精度管理部〉(報告者：竹村理事) 2月24日(金) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 標準化サーベイ報告会の最終打合せ、会場担当、試料の配布方法等を検討した。
- (2) 来年度標準化サーベイ実施の日程、試料の確保等の検討をした。
- (3) 来年度統計講座の進め方について検討した。

III. 報告事項

1. 職務執行状況報告について（会長・副会長・常務理事）
 - （1）増田会長、梶副会長、上田副会長、山西副会長、山田常務理事、安保常務理事、久保田常務理事、竹村理事より職務執行状況についてそれぞれ報告が行われた。
 - （2）2023年2月における役員行動報告・役員各部報告があった。
2. 2023年度2月事業開催状況報告について（梶副会長）
 - （1）上記について資料が示され確認した。
3. 2023年1月予算執行状況について（柴監事）
 - （1）支出は55%であるのに収益は72%の回収率である。
 - （2）10万円を超える未執行額の部門がたくさんあることが懸念される。
 - （3）大臨技医学検査学会の費用が計上されれば状況が緩和されるかもしれない。
4. 会計報告について（久保田常務理事）
 - （1）大臨技会計マニュアル Ver. 3、会計様式、VBA 会計システムマニュアル Ver. 1 について簡単な説明があった。
 - （2）支出の勘定科目に「広報費」が新しく追加された。以前、印刷費あつかいとしていたもののなかでこれに該当するものがあるので計上するときに気を付ける。
 - （3）3月中に理事、会計担当者に説明会を行い4月から運用する予定である。
5. チーム医療部門の部分け再考について（上田副会長）
 - （1）チーム医療部門は組織部で活動しているが事業内容をみると学術部が妥当であると考えられる。
 - （2）学術部には担当理事も3名おり総合管理部門の設立もあるので移動することを今後検討していく。
6. 災害時情報伝達および災害マニュアルの改訂について（藪理事）
 - （1）日臨技災害対策勉強会に参加したことの報告があった。
 - （2）日臨技のマニュアルでは情報伝達者を所属長にしているが大臨技では施設連絡者としている。どちらにするか検討し、改定の必要があれば対応する。
7. メーリングリストのアドレス変更に関して（山田常務理事）
 - （1）さくらインターネットで使用しているメーリングリストを X サーバーへ変更する予定である。@oamt.jp から@osaka-amt.or.jp へ変わる。
 - （2）3月20日までは両方のメーリングリストが使用できる。
 - （3）新しいMLで配信テストをし、調整さんで確認する。
 - （4）該当する学術部、渉外部、組織部への周知をお願いした。
8. 4月号大臨技ニュース印刷配賦に関して（山田常務理事）
 - （1）新入会員への情報や2022年4月から紙面版大臨技ニュースからWeb版になり講習会の参加者が減少していることを考慮して4月号のWebキャプチャを印刷して施設宛に送付する予定である。3月以降の大臨技ニュース配信時にもWebキャプチャを添付するようにする。
 - （2）以前にニュース表示の不具合があったが原因は広告画像の容量が大きいこと

で、現在は解消している。問題があれば委員でチェックして早期に拾い上げるように努める。

(3) 行事予定表を施設で掲示してもらえるように A4 または A3 で印刷できればいいと考えるが事前申し込みが終了している場合があったりするので現時点では対応しない。

9. 2023 年度賛助会員申し込み状況について (上地理事)

(1) 現在の申込数は 56 社である。

(2) 申し込みがまだのところに理事からの声掛けをお願いした。

10. 2023 年度登録学生カードについて (上地理事)

(1) 上記についてカードが示された。

(2) 4 年サイクルでカラーはすでに決まっており今年はブルーである。

11. 2022 年度大臨技教育機関懇談会 (梶副会長)

(1) 3 月 22 日に開催予定でメールにてすでにお知らせしている。

(2) 関係する理事や部長に参加をお願いした。

12. 第 6 回大臨技医学検査学会 学会報告 (安保常務理事)

(1) 現地参加 273 名、Web 参加 125 名で目標の 400 名に近く参加があり無事に終了したと報告があった。

13. 大臨技献血推進事業 開催報告 (岡本理事)

(1) 2 月 18 日京橋駅前で行った。

(2) 会員 10 名、学生 10 名の参加があった。

14. 大臨技検査と健康展 開催報告 (岡本理事)

(1) 3 月 4 日大日イオンモールで開催した。

(2) 顕微鏡コーナー 47 名、細胞診コーナー 58 名、エコーコーナー 74 名の参加があった。

15. 2023 年度 (公 1) 事業の予定について (岡本理事)

(1) 2023 年度事業の予定が紹介され渉外部の事業は公 1 事業なのでできるだけ理事の参加をお願いした。

16. 日臨技ニューリーダー研修報告 (上地理事)

(1) 3 月 4 日・5 日に行われ、47 都道府県から 44 名の参加があった。

(2) MTS ステップ表を作成して目標を達成する方法であった。

(3) 若いひとの参加者が多かった。

(4) 次年度は藪理事、その次は是永理事が参加する予定である。

17. プレ万博参加中止について (増田会長)

(1) 参加中止となった。

18. 2023 年度各部委員名簿作成および個人情報保護に関する誓約書について (梶副会長)

(1) 上地理事より委員名簿作成と誓約書提出について依頼があるので対応をお願いした。

19. 愛知県臨床検査標準化ガイドラインに対するパブリックコメントについて(梶副会長)
 - (1) 「脳波検査における手引書」についてパブリックコメントの依頼があったのでホームページへ掲載する。
20. ホームページ掲載申請について (梶副会長)
 - (1) 第 125 回近畿救急医学研究会 (日本救急医学会近畿地方会) についてメール審議で承認され、すでにホームページに掲載されている。
21. 日臨技より (高田参与)
 - (1) 検体採取講習会は 2023 年 8 月 19 日・20 日グランキューブで開催すると変更の報告があった。
22. その他
 - (1) 日本医学検査学会について (梶副会長)
 - ・鳥取県臨床検査技師会が 2025 年 5 月 10 日・11 日グランキューブで開催する予定であり、大臨技へ協力依頼があるかもしれないと日臨技から報告があった。

IV. 議 題

1. 2023 年度事業計画について (梶副会長)
 - (1) 事前にメールで確認した 2023 年度事業計画が示された。
 - (2) 上記について内容を一部修正し承認された。
2. 2023 年度予算案について (山西副会長)
 - (1) 2023 年度収支予算書と 2023 年度収支予算書事業別内訳表が示された。
 - (2) 上記について内容を確認し承認された。
 - (3) 資金調達および設備投資見込みについては「該当なし」で承認された。
3. 2023 年度予算振込予定額について (山西副会長)
 - (1) 2023 年度各部事業振込予定額が示された。
 - (2) 4 月と 5 月の 2 回に分けて事務所から振込をするが 4 月振込額が不足するようであれば 1 週間以内に事務所へ連絡する。
4. 2023 年度大臨技定時総会について (梶副会長)
 - (1) 2023 年 6 月 15 日 17:30~20:30 に定時総会を開催する予定である。
 - (2) 会場として OMM204・205 号室を仮押さえすることについて審議され承認された。
 - (3) 第 1 議長を学術部、第 2 議長を総務・広報・会計部から、議事運営委員 3 名は精度管理部より選出してもらうことをお願いした。
 - (4) 感謝状表彰候補者推薦状を 3 月 17 日までに梶副会長へ報告するように各部長にお願いした。
5. 学術部担当理事の職務について (上田副会長)
 - (1) 学術部担当理事に職務を分担することを検討した。
 - (2) 安保常務理事 (統括・制御)、佐藤理事 (庶務・書記)、豊田理事 (会計・広

報) 竹村理事 (学会等関連) を担うことが承認された。

6. 各市健康展への参加について (上田副会長)

(1) 吹田市健康展、摂津市健康展では組織部が実務を担い、渉外部が会計を担っている。

(2) 臨床検査技師の認知度を広めるために始めた事業であるが 2024 年度以降もこの事業を継続するかどうかまた継続するのであれば組織部として一本化することを検討したい。

(3) 導入時の経緯がわかる資料があれば提供してほしいとお願いした。

7. 2023 年度東大阪市、堺市衛生検査所精度管理専門委員について (梶副会長)

(1) 東大阪市は継続して上田副会長、豊田理事、河原氏を推薦することが承認された。

(2) 堺市は山田常務理事、喜舎場理事を推薦することが承認された。

8. 第 63 回日臨技近畿支部医学検査学会について (増田会長)

(1) 2025 年 11 月 3 日・4 日にグランキューブ大阪 10 階・12 階を仮予約している。

(2) 日本衛生検査所協会は同時開催の承認を得ている。

(3) 検査医学会近畿支部は同時開催を確認中である。

9. 第 7 回大臨技医学検査学会開催について (増田会長)

(1) 第 63 回日臨技近畿支部医学検査学会があるので開催中止ということも考えたが第 7 回大臨技医学検査学会は開催することが決定した。

(2) 開催時期にグランキューブ大阪の改装工事があるので借りることはできない。

10. NHK 受信料の支払について (梶副会長)

(1) 2023 年 4 月より NHK の法改正があり契約状況の確認書がきている。

(2) 放送の受信を目的としない利用なので受信料契約は必要なしということで承認された。

11. 大臨技謝金規程について (久保田常務理事)

(1) 謝金規程の協力者とするものを謝金扱いとすると源泉税が発生して実務が大変であると考えられる。

(2) 講師・講演を謝金扱いとすることで承認され会計マニュアルで対応することになった。